

## 地域おこし協力隊インタビュー

本市では、4人の地域おこし協力隊が、さまざまな取り組みを行っています。

皆さんに、次の3つについてインタビューを行いました。

- ①本市の地域おこし協力隊に応募したきっかけ
- ②移住して感じた本市の魅力
- ③地域おこし協力隊の活動を通じて、本市をどんなまちにしたいか



こばやし こうへい  
小林 耕平さん  
(東京都から移住)  
出身地：長野県佐久市  
活動開始年月：平成29年7月  
主な活動内容：ICTを活用した地域課題解決など

- ①プログラミングや電子工作が好きで、特技を生かせる仕事がしたいと考えていたところ、農業をしながらICTに関わる仕事ができると聞き、応募しました。
- ②私のような移住者に対し、地域の人がとても優しいことです。
- ③ICTに関わる取り組みなどで、市外から注目されるまちにしたいです。また、ICTの教育に関するデバイスの開発などを行い、地域の人材育成に貢献したいです。



すがわら かおり  
菅原 香織さん  
(埼玉県から移住)  
出身地：岩手県花巻市  
活動開始年月：平成30年7月  
主な活動内容：海を活用したイベントの企画

- ①震災後、ボランティアとして、海中のがれきの除去などを行うために、大船渡市へ通っていました。いつでも明るく迎えてくれた地域の人のために何かしたいと考え、応募しました。
- ②山と海があり、自然が豊かなところ、人が温かいところです。
- ③漁業体験イベントなどを企画することにより、市外のたくさんの人に市の魅力を知ってもらい、気軽に遊びに来られる場所にしたいです。



さわい なおゆき  
澤井 直之さん  
(東京都から移住)  
出身地：宮城県仙台市  
活動開始年月：平成31年4月  
主な活動内容：ぶどう栽培・ワイン事業の産業化

- ①気仙地域は母の出身地であり、小さい頃から慣れ親しみ、好きな場所でした。そのような土地で新しい挑戦をしてみたいと思い、応募しました。
- ②市の魅力は人だと思います。近所の方にとっても親切にってもらい、すぐに新しい生活になじむことができました。
- ③市の豊かな自然を生かした事業を起こしたいという起業家・移住者が集まるまちにしたいです。ぶどう栽培・ワイン事業という自然と共にある産業を推進することにより、地域に貢献したいです。



プロヴォ・イザベルさん  
(東京都から移住)  
出身地：フランス ナンジ  
活動開始年月：令和元年5月  
主な活動内容：観光コースの作成、インバウンド対応支援

- ①震災後のボランティア活動をきっかけに、何度も訪れるうちにまちを好きになり、住みたくなりました。また、がれき撤去とは別のかたちで復興に貢献したいと思いました。
- ②大都会から来ると、近所の方の助け合いや、道で会ったときのあいさつなど、地域の人々のつながりが素晴らしいと感じています。私にとっては、とても心地の良いまちです。
- ③活動を通じて市のファンを増やし、来訪者やUターン者・移住者が集まるまちにしたいです。

(3) 広報大船渡 令和2年2月5日号(No. 1168)

▶ 問い合わせ＝市役所 ☎0192②3111

## 地域力の維持・強化を図るための地域おこし活動の現状



▶ 問い合わせ先＝企画調整課(☎内線229)

漁業関係者との漁業体験イベント



ワインぶどうの栽培技術研修

「地域おこし協力隊」とは、人口の減少や高齢化が進む地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらうとともに、その定住・定着を図ることで、地域力の維持・強化に資することを目的とした制度です。この制度は、平成21年度より開始し、平成30年度には全国1,061団体で5,359人の地域おこし協力隊員が活動しています。

地域おこし協力隊の任期終了後も、隊員の約6割が引き続き同じ地域に定住し、同一市町村内に定住した隊員の約3割が起業するなど、新しい感性や刺激を地域に持ち込み、新しい仕事を創り出しています。

本号では、本市の地域おこし協力隊の取り組みと、協力隊の皆さんに行ったインタビューを紹介します。

地域おこし協力隊とは

## 本市の地域おこし協力隊の取り組み

本市においても、現在、4人の地域おこし協力隊が首都圏から移住し、それぞれの特技を生かして地域の活性化を図るため、次のような活動を行っています。

- ・子ども向けのICT(情報通信技術)教室の開催など、地域の人材育成に関わる活動



ICTに興味を持ってもらうため、おおふなトンの3Dモデルを作成し産業まつりに出展

- ・鳥獣被害対策に役立つ端末の開発など、ICTを活用した地域課題解決
- ・インターネットを通じた市の魅力の発信
- ・海を観光資源として活用した漁業体験イベントなどの企画
- ・ぶどう栽培やワインを市の新たな産業にするための活動
- ・市の観光スポットや体験メニューの発掘、観光コースの作成
- ・インバウンド観光客の受け入れ促進に向けた活動



市内事業者に向けた外国人おもてなし対応講座を開催

(2)